

TalkingPoints

拡大するテーマ型投資における指数の役割



Ari Rajendra

テーマ型指数のヘッド
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス

1. S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス（S&P DJI）では、 テーマ型投資をどのように定義していますか？

テーマ型投資とは、長期的に続くと思われ、トレンドに着目した投資アプローチです。ただし、テーマ型投資の定義は様々であり、時間の経過とともに変化する場合があります。S&P DJIは独立系の指数プロバイダーであり、市場動向を測定するという役割を果たすだけでなく、投資家に幅広い選択肢を提供することを目指しています。当社のテーマ型投資の定義は包括的なものであり、テーマ型投資全体におけるニッチなトピックと広範な概念の両方を扱っています。ドローン技術のような特定の分野に焦点を当てた指数から、クリーン・エネルギーのバリューチェーン全体をカバーする指数に至るまで、広範囲にわたるテーマ型ソリューションを提供しています。当社は、成長と投資機会を生み出す可能性のあるテーマを特定することに努めており、革新的な技術、持続可能性、ヘルスケア、及び人口動態といった様々な分野に注目しています。これらのテーマは、それぞれのセクターで大きな変革や破壊的イノベーションを引き起こすと予想されています。

S&P DJIのテーマ型指数：パフォーマンス概要

S&P グローバル・セミコンダクター指数 年初来：12.3% 5年：30.1%	S&P 上場プライベート・エクイティ指数 年初来：4.3% 5年：16.1%	S&P グローバル・クリーン・エネルギー指数 年初来：-14.9% 5年：15.1%	S&P インド・テック指数 年初来：1.4% 5年：14.3%	S&P グローバル高級ブランド指数 年初来：-1.7% 5年：14.2%
S&P Kensho グローバル・スペース指数 年初来：1.0% 5年：13.1%	S&P グローバル・ウォーター指数 年初来：3.8% 5年：13.1%	S&P Kensho ニュー・エコノミー・コンポジット指数 年初来：-4.5% 5年：12.9%	S&P コモディティ生産者石油・ガス探査・生産指数 年初来：11.3% 5年：12.4%	S&P Kensho ロボット工学指数 年初来：-3.6% 5年：12.3%
ダウ・ジョーンズ米国セレクト医療機器指数 年初来：2.0% 5年：10.7%	S&P グローバル天然資源指数 年初来：1.9% 5年：10.4%	ダウ・ジョーンズインターネット・コンポジット指数 年初来：4.7% 5年：10.4%	S&P コモディティ生産者金指数 年初来：7.6% 5年：9.8%	S&P コモディティ生産者アグリビジネス指数 年初来：-0.5% 5年：8.5%
DJ ブロックチェーン・グローバル・グリーン・インフラストラクチャー指数 年初来：-8.0% 5年：8.1%	S&P グローバル・インフラストラクチャー指数 年初来：0.5% 5年：6.5%	S&P Kensho グローバル・デジタル・ヘルス指数 年初来：-5.9% 5年：4.9%	S&P Kensho グローバル水素経済指数 年初来：-3.6%	S&P グローバル・エッセンシャル金属生産者指数* 年初来：7.7%

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスLLC。2024年4月30日現在の年初来のデータ。2023年12月28日現在の5年間のデータ。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目

的のために提示されています。

*これらの指数は2023年に算出が開始されたため、5年間の実績はまだありません。

この記事はETF Streamに掲載されたものを転載したものです。

最新のリサーチ、教育、及びコメントの受信をご希望の方は、on.spdji.com/signupに登録ください。

2. テーマ型インデックス投資の次の段階は何ですか？この分野における成長とイノベーションの牽引役は何ですか？

テーマ型投資では高度な判断や分析が求められるため、テーマ型投資はこれまで主にアクティブ運用の領域で行われていました。実際に、テーマ型投資を効率的に行うには、新たなトレンドを見極め、定義づけするだけでなく、そうしたテーマに関連する複雑なバリューチェーンを理解する必要があります。また、そうしたテーマは従来の事業や業界の垣根を超えて複雑な相互関係を築いている場合があります。さらに、テーマは時間の経過とともに変化するため、迅速な対応も求められます。

幸いなことに、近年の技術的進歩により、指数を構築するためのツールが大幅に増えました。S&P DJIは膨大な専門データセットや、人工知能（AI）のような先端技術を活用することが可能となっています。これにより、投資家のニーズに合わせたテーマ型投資ソリューションを開発することができるようになりました。さらに、S&P グローバルの傘下にあるS&P グローバル・サステナブル1、S&P グローバル・コモディティ・インサイト、及びS&P グローバル・モビリティなどの事業部門が提供する豊富な専門知識を活用しています。その結果、優れた洞察、ルールに基づくポートフォリオ構築、及び独立した管理を組み合わせた指数を構築することができるようになりました。これにより、当社は特定のテーマに焦点を当てた純粋な指数を提供しています。

データ、技術、及び専門知識を組み合わせることで、当社はテーマ型インデックス投資の成長を促進できると考えています。これにより、より多くの投資家がテーマ型投資を実施するようになり、テーマ型投資がより身近で影響力のあるものになることを期待しています。

3. 新しいメガトレンドをどのように見つけるのですか？地政学的要因はどのようにメガトレンドの形成に影響していますか？

テーマ型指数のプロダクト・チームは、投資家のニーズに合致したアイデアを生み出し、コンセプトを開発することに取り組んでいます。このプロセスにおいて、プロダクト・チームはリサーチや分析を行うとともに、お客様やエンドユーザーのニーズに積極的に耳を傾けます。S&P DJIでは、一般に認識されているメガトレンドとして、「革新的技術」、「環境と実物資産」、「医療と健康」、及び「社会と人口動態」の4つの分野に注目しており、各テーマ型指数をこれらのカテゴリーの1つに分類しています。例えば、S&P グローバルKensho ニュー・エコノミー指数は、革新的なイノベーションを生み出している企業に注目した指数ソリューションとなっています。

メガトレンドを特定する際には様々な要因を考慮します。プロダクト・チームはこれらの要因を常に見直し、これらが投資家のニーズに合致していることを確認します。地政学的要因は短期的な影響を及ぼすことがあります。例えば、ロシアによるウクライナ侵攻を受け、農業関連企業の株価が短中期的に上昇しました。一方、ロシアによるウクライナ侵攻は、インフレ率や金利の上昇といった中期的な影響も及ぼし、このことは世界的なテーマ・トレンドに幅広い波及効果をもたらしました。

4. テーマ型指数を構築する際のプロセスとは？

一般に、テーマ型指数を構築する際には標準化された枠組みを使用します。ただし、開発している指数の内容によっては、各ステップの詳細が異なる場合があります。また、扱っているテーマによって、指数構築の難易度は異なります。テーマを特定した後における最初の重要なステップは、その範囲を設定することです。このステップでは、テーマのどの側面を指数に含めるかを定義します。このプロセスはある程度の主観性を伴う場合があります。範囲の設定が終わった後には、指数を構築する上で最も適切なアプローチを決定します。この段階では、様々なデータセットを評価した上で、テーマを正確に表すのに最も関連性の高い企業を選択します。さらに、自然言語処理（NLP）などの高度な手法を活用し、テーマに関連する企業を特定する場合があります。最後に、実際に指数を構築します。ここでは、構成銘柄の加重方式を決定し、流動性基準を設定することにより、市場参加者にとって実用的な指数を構築することに努めます。

5. 近年では、主にどのような指数イノベーションがありましたか？

近年では、指数を構築するためのツールが大きく進化しており、特にテーマ型ソリューションの分野ではツールの能力が大幅に向上しています。新たな情報源が増えていることや、先進技術が利用可能になったことで、当社の能力も20年前と比べて格段に向上しました。当社は現在、業界で広く認知されているデータ分類システムから、非常に専門的なものまで、幅広いデータセットにアクセスすることができます。また、S&P グローバルの傘下にあるS&P グローバル・コモディティ・インサイトやS&P グローバル・モビリティなどの事業部門が提供するデータや専門知識を活用することもできます。これらのリソースを十分に活かしながら、革新的なテーマ型ソリューションの開発を続けていく方針です。

自然言語処理（NLP）や機械学習（ML）などの人工知能（AI）も、指数構築能力の向上に大きく貢献しています。当社のNLPプラットフォームであるS&P DJIグローバルKenshoインデックス・ソリューションでは、これらの先進技術を効果的に活用することにより、テーマ型指数の構築において透明性を高める一方で、主観性を減らすことが可能となっています。指数の正確性と関連性を高めることで、テーマ型ソリューションの利便性を向上させ、幅広い市場参加者のニーズに対応できると考えています。

6. 自然言語処理（NLP）はどのような役割を果たしますか？

指数構築プロセスにNLPを統合し、非構造化テキストデータの分析を飛躍的に向上させた結果、より効率的なアプローチが可能となりました。これまでは、アナリストが膨大な資料や報告書を手作業で精査し、企業の製品やサービスに関する情報を集計していました。この煩雑な作業を、数百または数千の企業について繰り返せば、膨大な時間がかかるだけでなく、人為的ミスも起こりやすくなります。一方、NLP技術の開発により、この煩雑な作業を迅速かつ正確に行うことが可能となりました。NLPでは、各業界に特化した言語モデルを継続的に更新しているため、企業と特定のテーマを正確に関連付け、分析プロセスを効率化することが可能となっています。

S&P DJIのNLPプラットフォームであるS&P DJIグローバルKenshoインデックス・ソリューションを活用し、このプロセスをアナリストが監視することにより、当社は革新的なソリューションを開発しています。さらに、当社のS&P Kensho指数シリーズ（S&P Kenshoニュー・エコノミー指数）では、NLPプラットフォームを活用することで、企業が新たな産業にどれだけ関与しているかを見極めていきます。売上高に基づく従来のスクリーニング手法には限界がありましたが、NLPを活用することで、企業がどのように新しい産業に関与しているかを正確に把握できるようになりました。

7. エネルギー移行において指数はどのような役割を果たしますか？

テーマ型指数は、低炭素経済への移行を重視する投資家にとって重要な役割を果たします。エネルギー移行をテーマとする指数では、再生可能エネルギー企業やクリーン・テクノロジー企業だけでなく、エネルギー移行に不可欠な金属を採掘している企業などを組み入れています。

例えば、S&P グローバル・クリーン・エネルギー指数は、再生可能エネルギーの生産やクリーン・テクノロジー・イノベーションに積極的に取り組んでいる企業で構成されています。同様に、S&P グローバル・エッセンシャル金属生産者指数は、エネルギー移行の促進に不可欠なリチウム、コバルト、及び希土類元素を発掘・生産している企業で構成されています。また、S&P PACT™ 指数（S&P パリ協定準拠指数及び気候変動指数）は、パリ協定で定められた1.5°C目標や、その他の気候関連目標に整合的な企業で構成されています。

テーマ型指数に連動する商品に投資することで、エネルギー移行を推進する様々な企業にアクセスすることができます。これらの指数はパフォーマンスを測るベンチマークとしての役割を果たすため、投資家はサステナビリティ関連戦略の有効性を評価し、十分な情報に基づいた投資判断を行うことができます。テーマ型指数に連動する商品に投資することで、投資家は環境保護などの目標達成に貢献できるだけでなく、世界的なエネルギー移行において重要な役割を果たす企業に長期的な成長機会を提供することも可能となります。

8. テーマ型指数はオルタナティブ資産にどのように連動するのでしょうか？

オルタナティブ資産をどのように定義するかにもよりますが、S&P DJIはオルタナティブ資産に連動する様々な指数を算出しており、プライベート資産のパフォーマンスを測定するベンチマークも開発しています。S&P DJIはケンブリッジ・アソシエイツと協力し、プライベート・エクイティ、ベンチャー・キャピタル、不動産、及びプライベート・クレジットをカバーしたファンド・レベルの総合ベンチマークを開発しました。これらのベンチマークでは、ファンド・マネージャーの四半期財務報告書から直接データを入手しています。

当社はオルタナティブ投資の分野において、上場企業に連動する指数を長期にわたり提供しています。例えば、S&P グローバル上場プライベート・エクイティ指数、ダウ・ジョーンズ・ブルックフィールド・インフラストラクチャー指数、S&P グローバル・インフラストラクチャー指数、S&P 不動産指数などの指数を算出しています。また、当社は様々なコモディティ指数も算出しています。S&P GSCI®は幅広いコモディティで構成され、世界で最も信頼性の高いコモディティ指数となっています。

さらに、ビットコインやイーサリアムのような主要暗号通貨のパフォーマンスに連動する指数のほか、250以上の暗号通貨のパフォーマンスに連動するS&P 暗号通貨総合デジタル市場指数も算出しています。

S&P DJIのテーマ型指数に関する詳細については、[ここをクリック](#)してください。

General Disclaimer

© 2024 S&P Dow Jones Indices. All rights reserved. S&P, S&P 500, SPX, SPY, The 500, US500, US 30, S&P 100, S&P COMPOSITE 1500, S&P 400, S&P MIDCAP 400, S&P 600, S&P SMALLCAP 600, S&P GIVI, GLOBAL TITANS, DIVIDEND ARISTOCRATS, DIVIDEND MONARCHS, BUYBACK ARISTOCRATS, SELECT SECTOR, S&P MAESTRO, S&P PRISM, S&P STRIDE, GICS, SPIVA, SPDR, INDEXOLOGY, iTraxx, iBoxx, ABX, ADBI, CDX, CMBX, LCDX, MBX, MCDX, PRIMEX, TABX, HHPI, IRXX, I-SYND, SOVX, CRITS, CRITR are registered trademarks of S&P Global, Inc. ("S&P Global") or its affiliates. DOW JONES, DJIA, THE DOW and DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE are trademarks of Dow Jones Trademark Holdings LLC ("Dow Jones"). These trademarks together with others have been licensed to S&P Dow Jones Indices LLC. Redistribution or reproduction in whole or in part are prohibited without written permission of S&P Dow Jones Indices LLC. This document does not constitute an offer of services in jurisdictions where S&P Dow Jones Indices LLC, S&P Global, Dow Jones or their respective affiliates (collectively "S&P Dow Jones Indices") do not have the necessary licenses. Except for certain custom index calculation services, all information provided by S&P Dow Jones Indices is impersonal and not tailored to the needs of any person, entity or group of persons. S&P Dow Jones Indices receives compensation in connection with licensing its indices to third parties and providing custom calculation services. Past performance of an index is not an indication or guarantee of future results.

It is not possible to invest directly in an index. Exposure to an asset class represented by an index may be available through investable instruments based on that index. S&P Dow Jones Indices does not sponsor, endorse, sell, promote or manage any investment fund or other investment vehicle that is offered by third parties and that seeks to provide an investment return based on the performance of any index. S&P Dow Jones Indices makes no assurance that investment products based on the index will accurately track index performance or provide positive investment returns. Index performance does not reflect trading costs, management fees or expenses. S&P Dow Jones Indices makes no representation regarding the advisability of investing in any such investment fund or other investment vehicle. A decision to invest in any such investment fund or other investment vehicle should not be made in reliance on any of the statements set forth in this document. S&P Dow Jones Indices is not an investment adviser, commodity trading advisor, commodity pool operator, broker dealer, fiduciary, promoter" (as defined in the Investment Company Act of 1940, as amended), "expert" as enumerated within 15 U.S.C. § 77k(a) or tax advisor. Inclusion of a security, commodity, crypto currency or other asset within an index is not a recommendation by S&P Dow Jones Indices to buy, sell, or hold such security, commodity, crypto currency or other asset, nor is it considered to be investment advice or commodity trading advice.

Closing prices for S&P Dow Jones Indices' US benchmark indices are calculated by S&P Dow Jones Indices based on the closing price of the individual constituents of the index as set by their primary exchange. Closing prices are received by S&P Dow Jones Indices from one of its third party vendors and verified by comparing them with prices from an alternative vendor. The vendors receive the closing price from the primary exchanges. Real-time intraday prices are calculated similarly without a second verification

These materials have been prepared solely for informational purposes based upon information generally available to the public and from sources believed to be reliable. No content contained in these materials (including index data, ratings, credit-related analyses and data, research, valuations, model, software or other application or output therefrom) or any part thereof ("Content") may be modified, reverse-engineered, reproduced or distributed in any form or by any means, or stored in a database or retrieval system, without the prior written permission of S&P Dow Jones Indices. The Content shall not be used for any unlawful or unauthorized purposes. S&P Dow Jones Indices and its third-party data providers and licensors (collectively "S&P Dow Jones Indices Parties") do not guarantee the accuracy, completeness, timeliness or availability of the Content. S&P Dow Jones Indices Parties are not responsible for any errors or omissions, regardless of the cause, for the results obtained from the use of the Content. THE CONTENT IS PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS. S&P DOW JONES INDICES PARTIES DISCLAIM ANY AND ALL EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE, FREEDOM FROM BUGS, SOFTWARE ERRORS OR DEFECTS, THAT THE CONTENT'S FUNCTIONING WILL BE UNINTERRUPTED OR THAT THE CONTENT WILL OPERATE WITH ANY SOFTWARE OR HARDWARE CONFIGURATION. In no event shall S&P Dow Jones Indices Parties be liable to any party for any direct, indirect, incidental, exemplary, compensatory, punitive, special or consequential damages, costs, expenses, legal fees, or losses (including, without limitation, lost income or lost profits and opportunity costs) in connection with any use of the Content even if advised of the possibility of such damages.

S&P Global keeps certain activities of its various divisions and business units separate from each other in order to preserve the independence and objectivity of their respective activities. As a result, certain divisions and business units of S&P Global may have information that is not available to other business units. S&P Global has established policies and procedures to maintain the confidentiality of certain non-public information received in connection with each analytical process.

In addition, S&P Dow Jones Indices provides a wide range of services to, or relating to, many organizations, including issuers of securities, investment advisers, broker-dealers, investment banks, other financial institutions and financial intermediaries, and accordingly may receive fees or other economic benefits from those organizations, including organizations whose securities or services they may recommend, rate, include in model portfolios, evaluate or otherwise address.

The Global Industry Classification Standard (GICS®) was developed by and is the exclusive property and a trademark of S&P and MSCI. Neither MSCI, S&P nor any other party involved in making or compiling any GICS classifications makes any express or implied warranties or representations with respect to such standard or classification (or the results to be obtained by the use thereof), and all such parties hereby expressly disclaim all warranties of originality, accuracy, completeness, merchantability or fitness for a particular purpose with respect to any of such standard or classification. Without limiting any of the foregoing, in no event shall MSCI, S&P, any of their affiliates or any third party involved in making or compiling any GICS classifications have any liability for any direct, indirect, special, punitive, consequential or any other damages (including lost profits) even if notified of the possibility of such damages.